


連携だより

令和5年

6 月号

令和5年6月1日発行

独立行政法人 国立病院機構 
呉医療センター・中国がんセンター
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
TEL 0823-22-3816
FAX 0823-32-3070

URL <https://kure.hosp.go.jp>

6月の花 ユリ

理念

思いやりのあるやさしい誠実な医療を提供します



今月号のトピックス

- 循環器内科紹介 内科系診療部長 杉野 浩 1
- 広島産業保健総合支援センター紹介 産業保健専門職 寺村 清美 3
- 開業医訪問
開業医の先生方にご挨拶に伺っております 4
- 漢方診療外来紹介
広島国際大学 生薬漢方診療学講座 教授 中島 正光 5
- 面会制限緩和のお知らせ 地域医療連携室 竹中 恵子 7

循環器内科紹介

循環器内科



後列左から：住元 庸二 (H21) 杉野 浩 (H4) 木下 晴之 (H18) 下永 貴司 (H19)
前列左から：藤田 健人 (R3) 広川 達也 (H29) 森田 雅史 (R2) 政田 賢治 (H20)

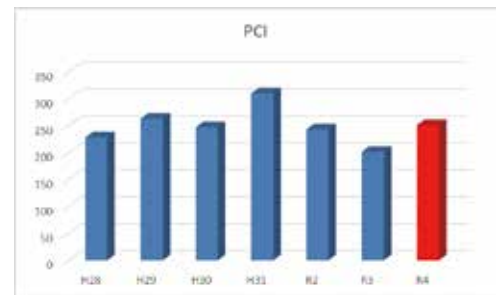
平素よりご高配を賜り誠に有難うございます。

循環器内科は、平成16年より呉地域では唯一である『呉心臓センター』を開設しています。呉心臓センターは、24時間365日、循環器内科・心臓血管外科の専門医師が常駐し、救急治療を要する心臓血管疾患に迅速に対応しています。呉医療圏においては当院の他にも緊急カテ対応施設はありますが、心臓血管外科緊急手術にフル対応可能なのは当院のみであり、循環器緊急受け入れの最後の砦を自負しています。

現在、循環器内科は8名のスタッフで、日常診療/救急対応に当たっています。特筆すべきは日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）の専門医を3名擁する点であり、循環器診療の柱の一つである、カテーテル治療（冠動脈、末梢血管）は件数・内容共に充実しています。循環器専門医が5名おり、その他、超音波専門医、心エコー図専門医、高血圧専門医指導医、心リハ指導士、プライマリケア指導医がおり、多彩な循環器疾患の診療に専門性をもって臨んでいます。

当科は虚血性心疾患・末梢血管疾患等の血管内治療（PCI・EVT）を得意分野としており、地域人口は減少している中、治療件数は増加傾向です。（10年前に比し倍増、R2/R3年はコロナ禍で停滞。）

PCIの質の向上のため、AUC（Appropriate Use Criteria）で示される安定狭心症に対するPCIの適切性が強く求められます。当科では安定狭心症の診断に、外来での冠動脈CTを多用していますが、令和2年6月からはFFR_{CT}（冠動脈CT機能的虚血評価）を導入し、正確な虚血評価と病態診断を行っています。外来にて狭心症の有無のみならず、PCIの要否が判定でき、冠動脈造影のみの入院が減らせており、患者さんのメリットが大きかつ医療費抑制に貢献できています。入院後も冠血流予備能検査（FFR/iFR/RFR/dPR）を用いて虚血の証明された症例のみにPCI治療を適応しています。また、多枝病変、慢性完全閉塞病変（CTO）、高度石灰化病変といった複雑病変に対する血管内治療も件数が多く、DCA（方向性粥腫切削術）/Rotablator/Diamondbackなどの施設基準を要するデバイスが使用可能であり積極的に取り入れて治療の質向上を図っています。急性冠症候群（ACS）については循環器内科医を中心に、心臓血管外科医、救急部/カテ室看護師、臨床工学技士、放射線技師、時に救急医と協力しハートチームとして救急対応にあたり、良好な患者転帰が得られています。



EVTについては人口構成の高齢化にともない、他の心血管疾患や腎不全・透析等の合併症を抱えた下肢虚血・重症虚血肢に対する血管内治療件数が増加しています。骨盤内、大腿膝窩動脈では、治療成功率は概ね95%以上が期待でき、薬剤塗布バルーンや薬剤溶出ステントを使用して、十分な長期開存が望めるようになりました。また以前からEVTは鼠径アプローチが標準でしたが、近年、橈骨アプローチが可能な長シャフトのデバイスが登場し、術後安静時間や穿刺部合併症の点でメリットが大きくなりました。治療手技とデバイス性能の向上で、ほぼ全例に一定の血流改善が望めるようになり、治療件数が増加し、治療成績も向上しています。



スタッフは地域や全国区のPCI/EVTライブデモンストレーションコースに、コメンテーターやプレゼンターとして参加し、全国レベルの最新の治療トレンドをしっかりと把握するようにしています。

不整脈治療では、植え込み型除細動器（ICD）、両心室ペーシング（CRT-P/CRT-D）の植え込み認定施設であり、心臓電気生理検査（EPS）件数も多く、リードレスペースメーカー、植え込み型心電図モニター（ICM）、ペースメーカー遠隔モニタリング等の最新不整脈診断・治療デバイスが使用可能です。不整脈のアブレーション治療は当院では行っておりませんが、それ以外の不整脈治療にはフルに対応可能であり、特にリードレスペースメーカーは、県内でも上位の植え込み件数です。リードレスペースメーカーは、当該地域に多い高齢・フレイルの患者さんにメリットが大きく、心房心室同期が可能なVDD作動機種が使用可能となり、適応となる症例が増えています。

心不全治療は、高齢化、長寿命化により、患者数が著増し、高齢者にシフトしています。重症例では速や

かに循環呼吸補助デバイス（BiPAP/IABP/V-A ECMO/体外式ペーシング）を導入し、基礎疾患の早期診断治療（緊急冠動脈造影、緊急PCI、急性期心筋生検）を開始し救命を図ります。慢性期には心リハ指導士を中心に、リハビリスタッフや心不全認定看護師、薬剤師、栄養科、ソーシャルワーカーがチームでシームレスな治療を提供しています。

また近年、腫瘍循環器病学が話題であり、直接がんを扱うことの少ない当科も、腫瘍循環器病学（抗がん剤治療関連心筋障害、血栓症）を通して、がん患者さんが集約されるがんセンターの一員としての役割を担っています。

- ・循環器専門医研修施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）教育認定施設
- ・日本高血圧学会専門医認定施設
- ・超音波専門医研修基幹施設
- ・CRT/ICD植込み施設
- ・浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
- ・心臓いきいき連携病院

循環器内科スタッフは
呉医療圏の心血管疾患患者を救うべく
多くの当直・待機をこなし、日夜奮闘しています。
今後ともご指導、ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

広島産業保健総合支援センター紹介



病気の治療を続けながら働ける社会を目指して

治療と仕事の両立支援のための「療養・就労両立支援指導料」をご存知ですか？

広島産業保健総合支援センター 産業保健専門職 寺村 清美

政府の働き方改革の一環として取り組みが進められている「治療と仕事の両立支援」。現在、日本の労働人口約3人に1人が、何らかの疾患を抱えながら働いています。

体調や働き方など、将来的への不安を何となく抱いていたとしても、今健康状態を維持できていると、仮に自分が「がん」などの病気になった時、自身の働き方をどうしようかなど、なかなか具体的には考えられないものです。ましてや、70歳までの就業機会の確保が企業の努力義務となり、雇用期間が延長している昨今、この年齢層と重なってくるのは、病気にかかるリスクです。

働く世代の人口減少、人材不足の中、医療は飛躍的に進歩しています。かつては治療が難しいとされていた病気にかかったとしても、治療を受けながらも生活の質を確保した日常生活を送り、働くことができる患者さんも増えてきました。

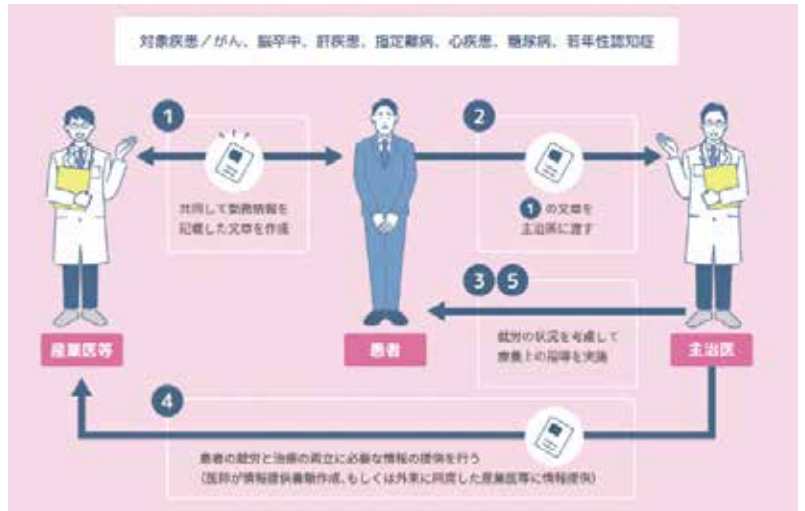
医療の高度化とともに、治療中の患者さんの「働ける」「働けない」の線引きは難しくなっており、体調と折り合える働き方を見出し、医療に支えてもらいながら、その人の持つ能力を發揮しながら働くことができ社会の仕組みづくりが必要です。その一つとして、平成30年度診療報酬改定において「療養・就労両立支援指導料」が新設されました。また、令和4年より傷病手当金の支給期間が通算化されるようになり、休職に徹するだけでなく、治療・休養しながら働くという選択肢が増えました。年齢を重ね、病気になったとしても、有用な人材を確保し、病気に臆することなく、少子高齢化の中、社会保障の維持のためにも、治療と仕事の両立支援は必要です。患者が、社会の担い手として活躍出来るようにするためには、患者と医療機関と企業が共に情報を共有し、それぞれの立場を理解し話し合いながら進めることが大切です。

「療養・就労両立支援指導料」は、仕事を理由として治療機会を逃すことなく、また、治療の必要性を理由として仕事の継続を妨げられることなく、適切な治療を受けながら生き生きと働き続けられるために、企業

から提供された「勤務情報」に基づき、患者に「療養上必要な指導」を実施するとともに、企業に対して診療情報を提供した場合について評価するものです。また、診療情報を提供した後の勤務環境の変化を踏まえ、「療養上必要な指導」を行った場合についても評価されます。

「主治医から治療方針をいくつか示されたけれど、どれを選べば仕事への影響が最小限なのか分からない」「仕事が続けられるか不安で、会社に伝えることができない」「定年まで勤め上げ今は嘱託職員。まだ生計を立てていかないといけないが、病気のことを会社に伝えると辞めさせられるのではないか」「病気をきっかけに仕事を辞めるのも一つかと退職を選んだものの、治療が落ち着いたなら社会から取り残された気持ちになっている。」そんな相談が寄せられています。

広島産業保健総合支援センターでは、「病院でも仕事の相談ができるんです！」をキャッチコピーに、呉医療センターをはじめとする県内の総合病院等に、「治療と仕事の両立支援出張相談窓口」を設置しています。主な支援内容は、企業や病院に出向いての「個別訪問支援」や、理解を深めるための「両立支援セミナー」の開催、そして、治療の副作用や後遺症は個別性が高く、また企業の就業規則もそれぞれ異なり、画一的な両立支援は難しいため、それぞれのケースに対する「個別調整支援」などです。医療機関向け研修もおこなっています。是非、一度、広島産業保健総合支援センターの無料支援をご利用ください。



※治療と仕事の両立支援ナビ引用

開業医訪問 開業医の先生方にご挨拶に伺っております

「乳腺外科科長 吉山知幸」が就任のご挨拶に伺っております。



● 医療法人社団 森本医院 ●



● 医療法人 あおぼし会
さわさき婦人科・産科 ●



● よしかわ医院 ●



● 山中レディースクリニック ●



● 医療法人社団 永楽会
前田病院 ●



● 田中産婦人科クリニック ●



● 医療法人 豊田レディースクリニック ●



● 木岡産婦人科・
さおか皮膚科クリニック ●



● 医療法人社団 生康会
谷本医院 ●

漢方診療外来紹介

漢方診療科

2023年4月より開設

月2回（第2、4）火曜日午前中

※本年度は6月のみ13日、20日と変則的



広島国際大学
生薬漢方診療学講座
教授
中島 正光

この度、漢方診療科を開設させていただきました、中島正光と申します。
診療は私、中島が行いますが、同時に当院は日本東洋医学会専門医研修施設として認定頂きましたので、陪席医師2名と共に参りました。

どうぞ宜しくお願い致します。

私は広島国際大学生薬漢方診療学講座に所属し、呉東洋医学研究会に関わってきました。呉医療センターで漢方診療が出来ることを大変嬉しく思っております。

私共は内視鏡の大家でもあった、山本巖先生の「漢方に西洋も東洋もない、病気をよく治す治療が良い医学である」というお言葉に代表される様な考え方で、漢方診療を行っております。現代医学できちんと病態把握をしたうえで、西洋薬での治療と同様に漢方方剤の中に含まれる生薬の薬能から、治療効果が期待できる方剤を選びます。

漢方の面白いところをいくつかご紹介します。一つは、診断がつかなくても症状を治すことが出来る可能性があることでしょうか。また、全く別々の病気と捉えられているもの、例えば、雨の日の不調・頭痛・めまい・浮腫み・嘔気・痛みや痺れなどが生活指導と一つの方剤で改善することもあります。逆に主訴が同じでも患者さんの病態に応じて全く違った方剤で治療することもしばしばある、テーラーメイドな治療でもあります。また「寒証」という体表面や体の内部の冷えによって生じている不調という概念も漢方の得意分野かも知れません。

西洋医学的疾患を精査しても疾患が見つからない、西洋薬などで治るはずがうまくいかない、また理解できない症状が続くなどの症状を和らげるお手伝いができるかも知れません。西洋薬の副作用、指定難病なども現在の治療に加えて漢方が効果をしめすこともよくあります。器質的疾患の有無の精査、西洋医学的診断などを行っていただき、漢方診療科にご紹介いただけましたら幸いです。さらに、次の様な症状でお困りの方がおられましたら、漢方が役立つことも少なくありません。

朝起きられない（夜型、フクロウ型体質と呼んだりします）、立ちくらみ、頭痛、めまい、天候の影響を受ける体調不良、体が重だるい、冷え、のぼせ、動悸、食後の眠気、疲れやすい、風邪をひきやすい、腹痛でトイレにこもる、緊張しすぎる、くいしばり、イライラ感、不安、介護疲れ、夫源病、のどのつかえ、お腹が張る、肌荒れ、痒み、痛み、口腔関連症状（痛み、口の中の乾き）、繰り返す膀胱炎様症状、更年期障害、月経関連トラブルなどです。

通常の治療で効果が乏しい方や、副作用のために治療継続が困難な方を先生とご一緒に併診させていただければと思いますし、漢方薬が有効で処方が落ち着かれましたら先生方に漢方治療を継続していただくようにいたします。

中島 正光

- 略歴：**
- ・ 広島国際大学薬学部生薬漢方診療学講座教授
 - ・ 日本東洋医学会漢方専門医・指導医
 - ・ 前、広島大学漢方診療センター 責任指導医
 - ・ 東亜医学協会（月刊漢方の臨床を発刊）理事長
 - ・ 日本東洋医学学会代議員
 - ・ 和漢医薬学会理事
 - ・ 第三医学研究会副会長
 - ・ 漢方塾代表
 - ・ 日本漢方交流会理事
 - ・ 広島漢方研究会理事
 - ・ 総合内科専門医（元中国地区会長）
 - ・ 呼吸器内科専門医・指導医
 - ・ 感染症専門医・指導医
 - ・ 元認定病理専門医

陪席医よりご挨拶

光野 彩子

（主な勤務先：津田産婦人科クリニックなど。日本専門医機構認定産婦人科専門医、日本東洋医学会漢方専門医）

この度、師匠の中島先生と共に呉医療センター漢方診療科に来させていただき、陪席研鑽させていただいております光野と申します。普段は産科がメインのクリニックに勤務しております。どうぞ宜しくお願い致します。

私は、約6年前に漢方薬の素晴らしさを体感し、「漢方を本格的に勉強したい！」と思ったのですが、当時はお恥ずかしながら生薬の名前すら読めず、漢方用語にも全く馴染めそうになく何度も諦めようと思いました。その時に出会ったのが、山本巖流第三医学の考え方でした。西洋薬と同じように漢方方剤の薬能を考えて処方しますので、正に腑に落ちる！内容でした。方剤に含まれる各生薬の薬能を覚えると早道だと教えていただきましたが、本当にその通りでした。知らない方剤でも、構成生薬を見ると、どんな効能が期待できるかある程度予想が出来る様になり、応用がきくようになるのです。

中島正光先生のおじい様は漢方会で御高名な中島随象先生ですが、山本巖先生はその随象先生に師事されていたそうです。正光先生は幼少時から生薬の香りに囲まれて育ててこられたと伺っております。

中島正光先生は広島大学の漢方外来を作られた方で、約20年間診療を続けて来られたのですが、私は先生のもとで約6年間陪席させていただいて参りました。難病の方や癌の方、診断名が付かない症状の方もたくさん来られますが、皆さんお辛いはずなのに、嬉しそうに通院されている事が大変印象的でした。ある症状が改善したら、全く別の疾患と思われていたことも改善する可能性があるのも漢方の面白さですし、表情も性格も穏やかになられて別人の様になられることも珍しくありません。

ちょうど、紫陽花が綺麗なこの季節に体調がすぐれない方も多いのではないのでしょうか。患者さんのみならず、コメディカル皆さんの心身も整えていただけることも願っております。また、漢方の勉強法を知りたい、研修会情報が欲しいという方も、どうぞ、お声かけ下さい。

橋本 直樹

（北広島町八幡診療所所長。総合診療専門医）

私は、中山間地域でプライマリ・ケアを行って来ました。その中で、漢方薬を日常診療で活用されておられる先生達と出会いました。私も漢方薬を本格的に勉強したいと考え、昨年度から中島先生の外来を陪席しています。

漢方とプライマリ・ケアには親和性が高いですが、その理由は2つあると考えます。1つ目は、プライマリ・ケア領域で対応する症状に対して漢方薬が有効活用できる点です。私が働く診療所では、こむらえり、腹痛、皮膚掻痒感、下腿浮腫、頻尿、腰痛、めまい、立ちくらみ、動悸、倦怠感など様々な症状を呈した患者さんが来院されます。近隣の医療機関と連携し、器質的疾患の検索を行なっていますが、西洋薬で症

状の改善が見られない時や西洋薬が副作用により使用しづらい時に漢方薬での治療を試みています。2つ目は、漢方外来でもプライマリ・ケアの外来でも、心理社会的問題が複雑に絡み合った患者さんが多く訪れるという点です。漢方外来では、漢方薬を処方するだけでなく、東洋医学の心身一如という考えも取り入れて治療を行っています。

呉医療センター漢方診療科での研修は貴重な機会であり、しっかり勉強する所存です。何卒よろしくお願いいたします。



漢方外来のみなさん



橋本直樹先生 中島正光先生 光野彩子先生

面会制限緩和のお知らせ

地域医療連携室 竹中 恵子

平素より、大変お世話になっております。

5月8日より新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、面会制限を緩和しております。

一部、面会制限のある病棟がありますので、お問い合わせの上、ご来院ください。

当院では、自宅退院される患者さんのサービス調整にあたり、必要に応じて退院前カンファレンスを実施しております。お困りの際は、地域医療連携室にご相談ください。



当院では、安全な医療の提供に努めています。患者さんの安静を守り治療の妨げにならないよう、また患者さんにとっても面会者にとっても感染の危険性をさけるため、以下の取り決めをしています。ご理解とご協力をお願い致します。

「面会」について

下記の方の面会は、お断りしています。
「お子さま」「緊急性がない方」
「風邪症状がある方」「下痢、嘔吐症状がある方」

面会される方は、下記の面会時間をお守り下さい。

	面会時間
一般病棟	午後1時～午後7時まで
NICU (新生児集中治療室)	〈窓越し〉午前9時～午後7時まで 〈入室〉午後1時～午後7時まで
救命救急センター	午前 7時～午前8時まで 正午 12時～午後1時まで 午後 5時～午後7時まで

*感染症流行時などは、「全面禁止」とすることがあります。

「患者さんのための飲食物の持ち込み」について
 ※治療の妨げや食中毒の原因になる場合がありますのでご遠慮下さい。



「植物（生花、鉢植え植物）の持ち込み」について
 ※水や土に菌が繁殖したり、虫が混入する危険性がありますのでご遠慮下さい。



呉医療センター・中国がんセンター院長

救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで**電話でご連絡**いただきますようお願い申し上げます。

平日 昼間 8:30～17:15 ☎0823-22-3111
 土・日および夜間 17:15～8:30 ☎0823-23-1020

6月の時間外 研修会／勉強会



【連絡先】

地方行政法人国立病院機構 呉医療センター 管理課 庶務係（教育企画部）
 広島県呉市青山町3番1号 / TEL:0823-22-3111 / E-MAIL: <https://hurec.hosp.go.jp/>



研修会名	日 時	場 所	講 師 ※敬称略	担当部署	院外	対象職種
消化器合同オーブンカンファレンス 肝・胆・膵及び上部消化管を対象疾患とし、 画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討	6月7日 (水) 18:00～	1 1F大会議室	呉医療センター 消化器内科 外科 放射線診断科 病理診断科	消化器外科	○	全職種
コメディカルのお薬勉強会 「抗HIV薬について」	6月12日 (月) 18:00～19:00	地域研修センター 1・2	呉医療センター 薬剤部 薬剤師 池田 ひかり 薬剤師 沖原 香純	薬剤部	院内向け	看護師 助産師 コメディカル
【法定研修】 第1回 感染対策・抗菌薬適正使用支援講演会 「医療スタッフが知っておきたい耐性菌と その対策&アフタコロナへのメッセージ」	6月14日 (水) 18:00～19:00	地域研修センター 1・2	常滑市民病院 感染症科部長 兵庫医科大学名誉教授 特別招聘教授 竹末 芳生 先生	管理課	○	全職種
第2回 TCSA勉強会 「重症度の高い敗血症 における経腸栄養管理」 「PEG造設方法について PEGカテーテルの種類について」	6月19日 (月) 18:00～19:30	地域研修センター 1・2	呉医療センター 救命救急センター一部長 岩崎 泰昌 消化器内科医師 加藤 尚宏	栄養管理室	○	全職種
地域医療研修センター定期講演会 「周術期センターの役割について」	6月21日 (水) 18:00～19:00	地域研修センター 1・2	呉医療センター 外科医長 鈴木 崇久 臨床研究部長 讃岐 美智義	管理課	○	全職種
医療機器安全使用に関する研修会 「人工呼吸器 V60について」	6月27日 (火) 17:30～18:30	11階 カンファレンス室	呉医療センター ME管理室 岡野 慎也	ME管理室	院内向け	全職種



自己研鑽で専門性を高めましょう!!

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
独立行政法人 国立病院機構
呉医療センター・中国がんセンター

地域医療連携室
 河野 博孝 西岡 巧
 竹中 恵子 折本 陽一
 片山 千雪
 TEL: (0823) 22-3816